

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	イノベーション創出の総合的推進		<b>担当部局</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	産業連携・地域支援課		産業連携・地域支援課長 里見 朋香		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	施策目標：7-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	○第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	大学や公的研究機関等で生み出される優れた研究成果を円滑に社会へ還元するために必要な産学官連携施策を総合的に推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	大学等の研究成果を社会へ還元し、イノベーションの創出につなげるため、以下の取組を実施する。 ・全国・地域会議開催等による産学官連携コーディネーター等の全国的ネットワーク構築 ・イノベーションの創出に係る施策の企画立案のための情報収集 ・国内・国外における産学官連携活動の事例調査 等							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			57	57	57	
		繰越し等			-	-	-	
		計			57	57	57	
	執行額			49.0				
	執行率(%)			85.66				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23年度)
	全国的なネットワーク構築のための会議への参加者数(累積)		成果実績		-	-	1,797(のべ人数)	600
			達成度	%	-	-	300	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	全国的なネットワーク構築のための会議(全国単位及び地域単位)の開催件数		活動実績 (当初見込み)		-	-	19	16
					( )	(19)	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	0.8百万円 全国的なネットワーク構築のための会議(全国単位及び地位単位)の件数		算出根拠	「全国的なコーディネート活動ネットワークの構築・強化」実施のため平成23年度に支出した委託費用のうち、「費用・使途」欄の業務実施費(旅費・雑費含む)16百万円を全国的なネットワーク構築のための会議開催数19回で除して算出したもの				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.5百万円	0.5百万円					
	職員旅費	3百万円	3百万円					
	委員等旅費	0.6百万円	0.6百万円					
	庁費	3百万円	3百万円					
	産学官連携支援事業費補助金	50百万円	50百万円					
	計	57百万円	57百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	産学官連携において重要な役割を果たすコーディネータ活動のネットワークを強化することは、今後のイノベーション創出のためにも優先度が高い。全国的な規模でのネットワーク構築を支援するものであり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は一般競争入札により審査の上選定。予定価格を下回っており、コストも妥当である。仕様書に基づき事業の実施状況や費目・使途等について確認を行っている。また、年間支払計画に基づき事業が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	全国的なネットワーク構築のための会議の参加者はのべ人数で1797人であり、目標の約3倍程度となっている。また会議開催数は19回で当初からの計画どおり適切に行っている。またコーディネータ活動事例集およびWEBによるコーディネータDBやシーズ集等も作成され、一時的なネットワーク化のみならず、持続的なネットワーク活動が適切に実施される取り組みとなっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	仕様書に基づく事項が適切に実施され、全国的なネットワーク構築のための会議についても参加者が想定以上に集まっており、同ネットワークの構築に十分資する取り組みとなっている。また予算の状況・資金の流れ、費目・使途等についても適切である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0207	平成23年行政事業レビュー	新23-0029

文部科学省  
49.0百万円

諸謝金:0.1百万円  
職員旅費:2.5百万円  
委員等旅費:1百万円  
庁費:0.8百万円

を含む

イノベーションの創出に係る施策の企画立案のための情報収集等を民間企業等に調査委託することや、海外の現地調査等を実施。



【一般競争入札・委託】

A.産学官連携支援事業委託事業:44.6百万円  
民間企業、財団法人等(全2機関)

国との委託契約に基づき、産学官連携施策の企画・立案に資する調査・情報収集等(現地調査、調査結果の分析・検討等)を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.財団法人日本立地センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査及び調査内容等の分析・検討にあつかる人員の経費	22			
業務実施費	調査にかかる旅費・会議開催費等	16			
一般管理費	上記経費の10%	4			
計		42	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本立地センター	全国的なコーディネート活動ネットワークの構築・強化	42	2	91.1
2	(財)未来工学研究所	日米欧におけるギャップファンドの活用実績等に関する調査	3	4	75.46